



安田倉庫(株) 会社説明会

2013年12月6日

証券コード：9324 東証第一部 <http://www.yasuda-soko.co.jp/>

1. 安田倉庫について

2. 事業内容

3. 業績の概要

4. 中期経営計画

5. 株式情報

6. 参考資料(物流・不動産の市場環境)

1. 安田倉庫について

会社プロフィール



- 会社名 安田倉庫株式会社
- 所在地 〒108-8435 東京都港区海岸3-3-8
- 設立 1919年(大正8年)12月20日
- 資本金 36億210万円
- 連結売上高 348億9百万円
- 連結営業利益 26億53百万円
- 決算期 3月末
- 代表者 代表取締役社長 藤田 久行
- 従業員数 349名(単体)
887名(連結)



※数値は2013年3月期、または3月末時点のもの

【本社】



安田善次郎

子安村(現守屋町)
埋立事業への資金援助



守屋此助



興亜起業(現安田倉庫)を設立



※安田財閥の事業統括機関・持株会社である

安田保善社の出資企業の一例

- ・ 安田銀行(旧富士銀行、現みずほ銀行)
- ・ 安田火災(現損害保険ジャパン)
- ・ 安田生命(現明治安田生命)
- ・ 東京建物 など多数

1919年(大正8年)	払込資本金400万円で興亜起業株式会社として創立
1924年(大正13年)	横浜市で普通倉庫業を開業(現守屋町営業所)
1932年(昭和7年)	東京市芝区に東京営業所を開設(現芝浦営業所)
1942年(昭和17年)	社名を「安田倉庫株式会社」に改称
⋮	
1999年(平成11年)	東京証券取引所市場第二部に上場 資本金を36億210万円に増資
2000年(平成12年)	中国上海市に100%出資の安田倉儲(上海)有限公司を設立
2005年(平成17年)	東京証券取引所市場第一部に上場
2007年(平成19年)	中国上海市に安田中倉国際貨運代理(上海)有限公司を設立
2009年(平成21年)	ベトナム・ハノイにYASUDA LOGISTICS(VIETNAM)CO.,LTDを設立

企業理念



経営理念

健全な企業活動を通じて、
お客様、株主、従業員、地域社会の
期待に応え豊かさと夢を実現する。

キーワード

- Youth 若々しい企業
- Ambition 目標に挑戦する企業
- Satisfaction お客様の満足を実現する企業
- Design 提案力豊かな企業
- Advance 永遠に発展する企業

お客様のサプライチェーンを支える優れた物流企業

電気機器メーカー 医薬品メーカー 精密機器メーカー
商社 食品卸 アパレルメーカー 小売業者 等のお客様



安田倉庫株式会社

国内

(株)ヤスタワークス
倉庫作業請負業(62.5)

北海安田倉庫(株)
倉庫業(100)

安田運輸(株)
陸運業(100)

芙蓉エアカーゴ(株)
航空貨物取扱業(100)

日本ビジネスロジスティクス(株)
物流管理サービス業(100)

安田メディカルロジスティクス(株)
倉庫作業請負業(100)

(株)安田ビル
不動産賃貸業(100)

(株)安田エステートサービス
ビル管理業(100)

海外現地法人

安田倉儲(上海)
有限公司
倉庫業(100)

中国

安田中倉国際貨運代理
(上海)有限公司
国際貨物取扱業、倉庫業(70)

中国

YASUDA LOGISTICS
(VIETNAM)CO.,LTD.
国際貨物取扱業(49)

ベトナム

※()は議決権の所有割合(%)

※YASUDA LOGISTICS(VIETNAM)CO.,LTD.は連結子会社に該当しません。



【首都圏】

【関西圏】



国内拠点(東京①)



芝浦営業所



平和島営業所



板橋営業所



大井営業所



大井埠頭営業所



八王子営業所

国内拠点(神奈川①)



守屋町営業所



本牧営業所



1. 北西面全景

大黒営業所



大黒流通センター



新山下営業所



東扇島営業所



厚木営業所

国内拠点(千葉・埼玉)



加須営業所



加須第二営業所



柏営業所



北大阪営業所



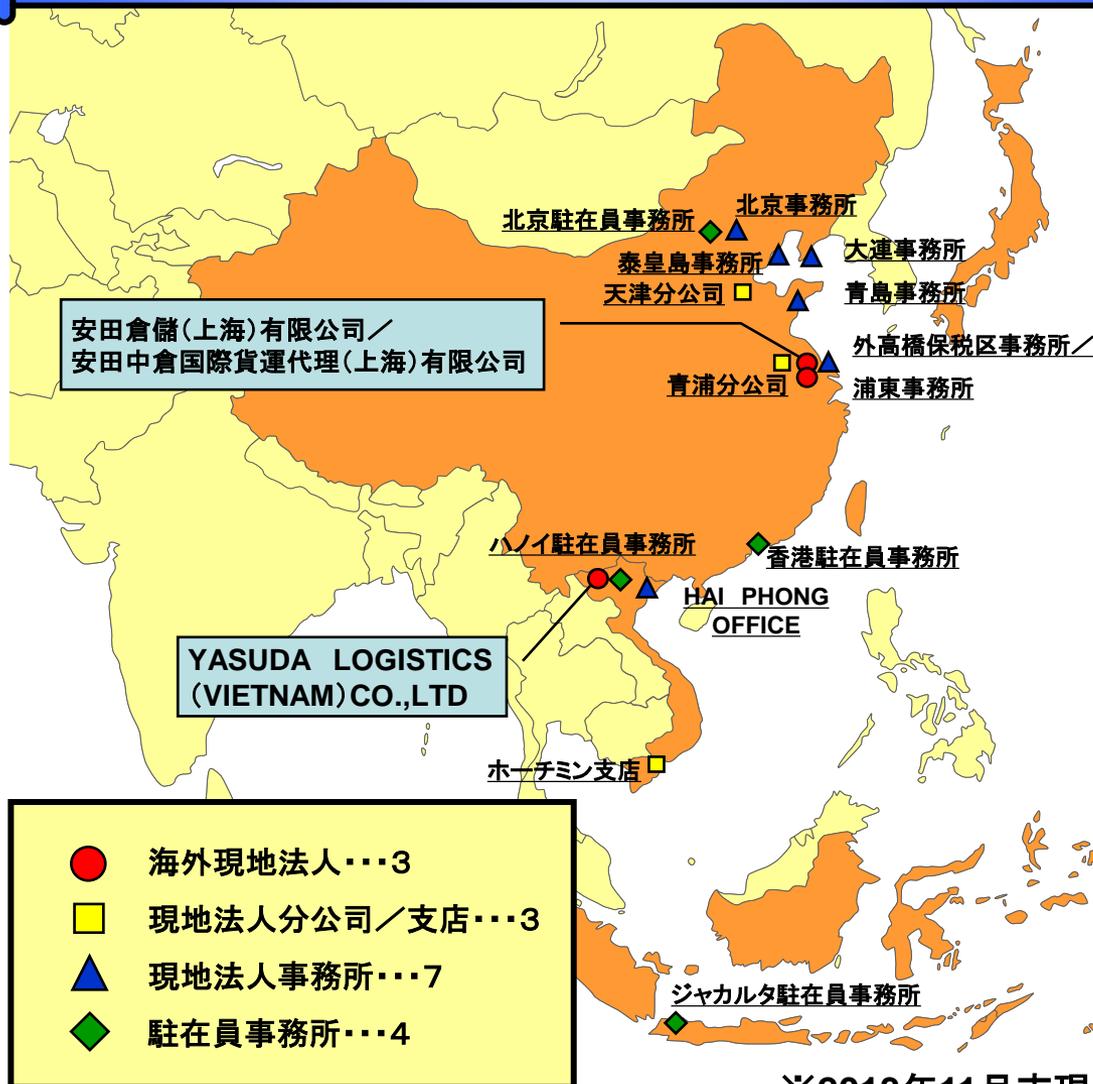
大阪営業所

新拠点のご案内

- 名称 : 茨木営業所
所在地 : 大阪府茨木市
階数・構造 : 地上5階建て
鉄筋コンクリート造
倉庫面積 : 23,308㎡(約7,050坪)
施設の特徴 : 停電時においても事業継続できるよう非常用発電機を設置
環境に配慮し、太陽光発電を設置
稼働日 : 2014年1月(予定)



中国・ベトナムを中心とした海外展開



安田倉儲(外高橋)



青浦物流センター

※2013年11月末現在

安田倉庫(ベトナム) ホーチミン支店の設立

・名称
YASUDA LOGISTICS (VIETNAM) CO., LTD.
Ho Chi Minh Branch

・設立日
平成25年11月15日

・業務内容
国際フォワーディング業

・目的
ホーチミンを中心とするベトナム南部およびカンボジア
におけるフォワーディングサービスの品質向上



オフィス外観

2. 事業内容



国内物流ブランド

好立地の物流センター群を基盤に、
お客様にとって最適なロジスティクスを
一括してご提供しています

国内物流サービスの一例



保管・入出庫



検品



運行管理



在庫管理



流通加工



オフィス移転

SCS(サプライチェーンソリューション)ブランド

お客様のニーズに対応するため、従来の
倉庫・物流サービスの枠にとどまらない
多彩なサービスをご提供します

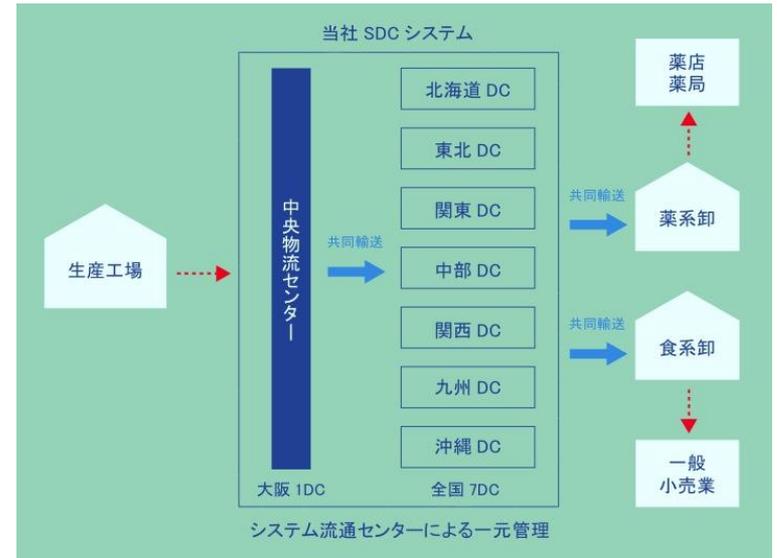
SCSサービスの一例



ATMキッティング



IT機器キッティング



複数拠点在庫の一元管理



包装設計・開発・試験

文書・情報管理ブランド

機密文書の安全な保管・検索・管理
サービスから、電子化サービス、
リサイクルまできめ細かく対応します



文書保管



検索サービス



文書電子化



文書リサイクル

海外・国際物流ブランド

中国・ベトナム・インドネシアなど、
アジアを中心に世界的なネットワークを
確立し、複合一貫サービスをご提供します



国際一貫物流サービス(海上・航空)



通関サービス(AEO通関業者)



ハンガーコンテナ



タンクコンテナ

不動産ブランド

企画開発からビル管理までの事業を展開し、
時代のニーズに応える快適空間を
ご提供しています

当社の不動産物件、不動産サービスの一例



ピアシティ芝浦ビル

【東京地区】 計6棟



第6安田ビル

【横浜地区】 計11棟



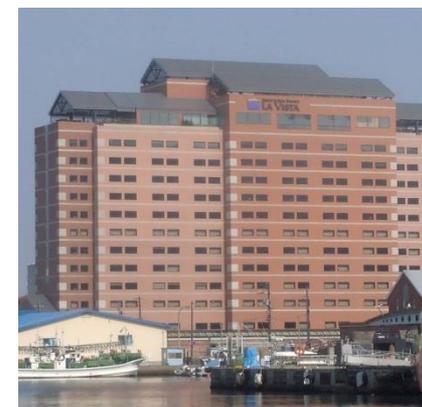
守屋町C号ビル



ビルメンテナンス



駐車場賃貸



ラビスタ函館ベイ(再開発)

大消費地に近い首都圏・関西圏に拠点が集中している

⇒ 安定的な貨物の確保、効率的なオペレーションが可能

安田ブランドは高いサービス品質を持っている

⇒ グローバル企業・独自の競争力を持つ企業がお客様である

高付加価値製品取扱いノウハウを蓄積している

⇒ 精密機器・医療機器・家電等の最終製品の取扱が多い

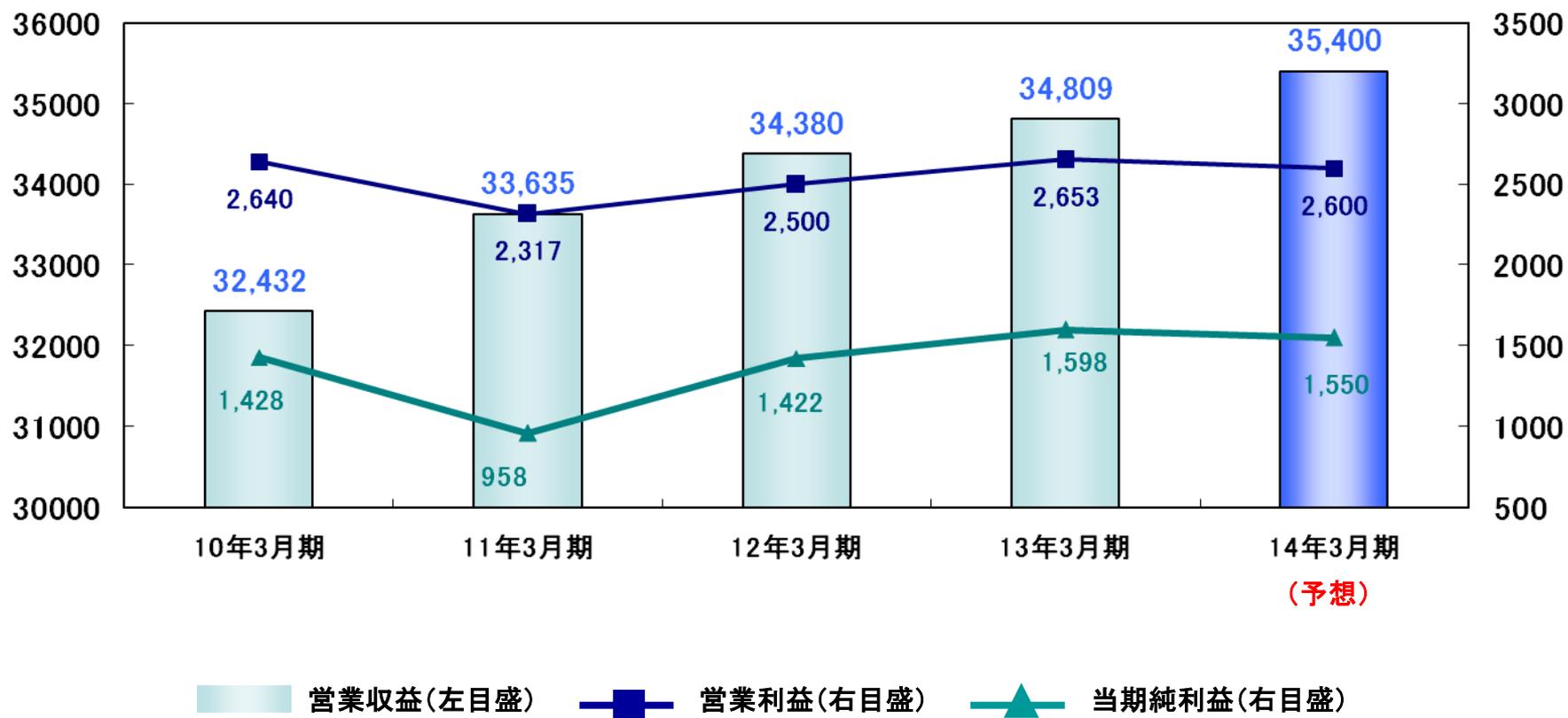
3. 業績の概要

連結業績推移

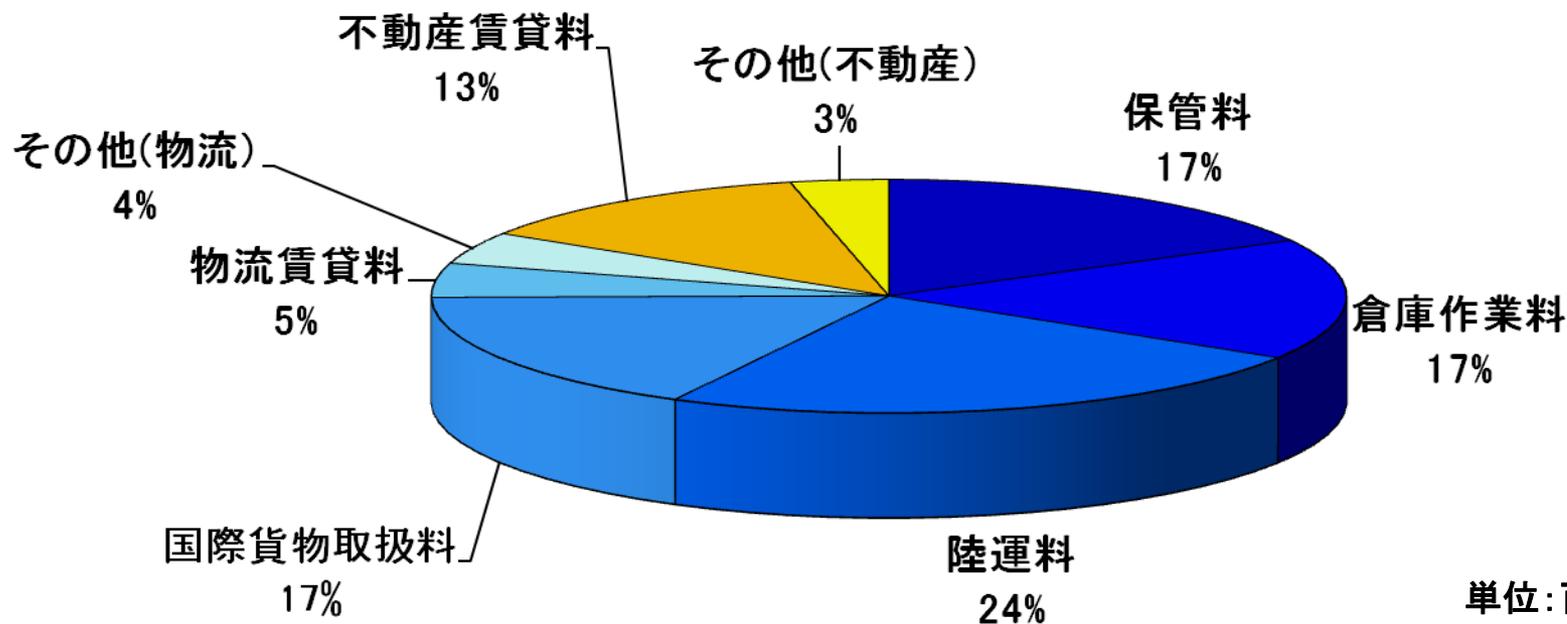


(単位:百万円)

(単位:百万円)



科目別連結営業収益(2013年3月期)



単位: 百万円

	13/03期
物流事業	29,230
不動産事業	5,578
合計	34,809

平成26年3月期の業績の見通し



	平成25年 3月期	平成26年3月期					
	第2四半期	第2四半期				通期	
(単位:百万円)	実績	実績	増減額	増減率	進捗率	予想	前年 実績比
売上高	17,390	17,383	△7	△0.0%	49.1%	35,400	1.7%
営業利益	1,359	1,240	△119	△8.8%	47.7%	2,600	△2.0%
経常利益	1,379	1,354	△24	△1.8%	52.1%	2,600	△2.6%
当期純利益	815	839	23	2.9%	54.1%	1,550	△3.0%

4. 中期経営計画「Cs STEP 2015」 (2013年4月～2016年3月)

Cs STEP 2015 新たなるステージでの挑戦

- ◆ **C**S、**C**hange、**C**reation、**C**hina、**C**reative
- ◆ **S**olution ◆ **T**echnology ◆ **E**volution ◆ **P**leasure

基本方針

「サプライチェーンを支える優れた物流企業」として、
国内外でお客様のビジネスとともに成長する

基本目標

1. 潜在ニーズに先回りしてお応えする「ソリューション提案型」企業
2. 国内・海外問わず、お客様のニーズに合わせた施設やサービスを提供
3. 災害に強い企業として体制を構築、地球環境の負荷軽減に貢献
4. (連結)営業収益400億円、営業利益30億円を達成(2016年3月期)

基本戦略

1. ソリューション提案力の強化、サービスメニューの拡充を図り、期待に応える物流企業を目指す
2. 伝統的な倉庫・物流サービスの枠にとらわれることなく、お客様のサプライチェーンのサポートを積極的に行う
3. 文書保管にとどまらず、検索・廃棄等の周辺業務、電子化、情報管理まで、一貫したサービスを提供する
4. 保有資産の再開発準備を進め、不動産事業の拡大を推進する
5. 経営基盤の強化を通じて、より一層の競争力の向上を図る

投資計画

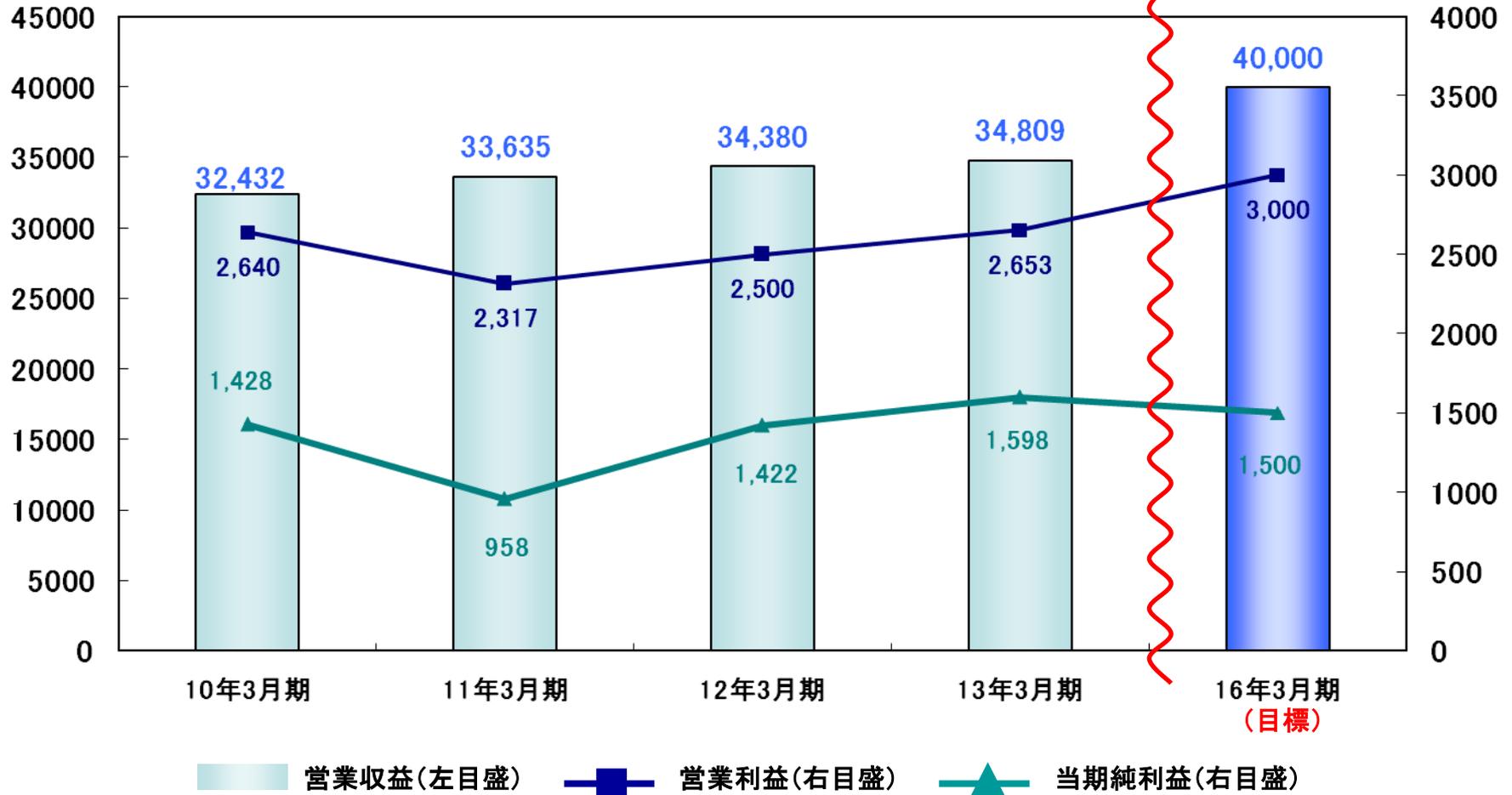
物流事業系	80億円(物流拠点増設、施設更新、システム開発等)
不動産事業系	40億円(再開発準備、施設更新等)
合計	120億円

中期経営計画「Cs STEP 2015」の概要 3



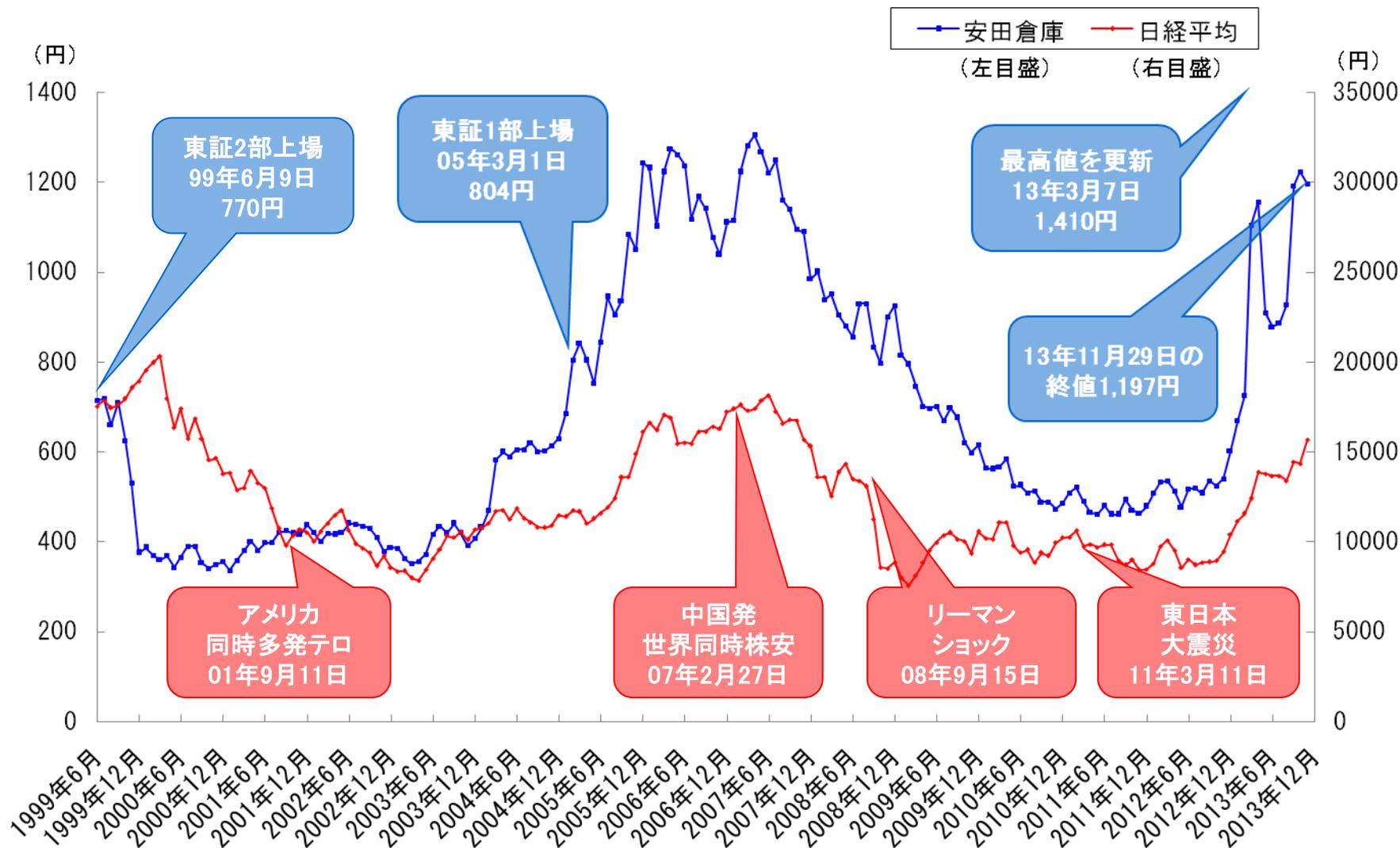
(単位:百万円)

(単位:百万円)

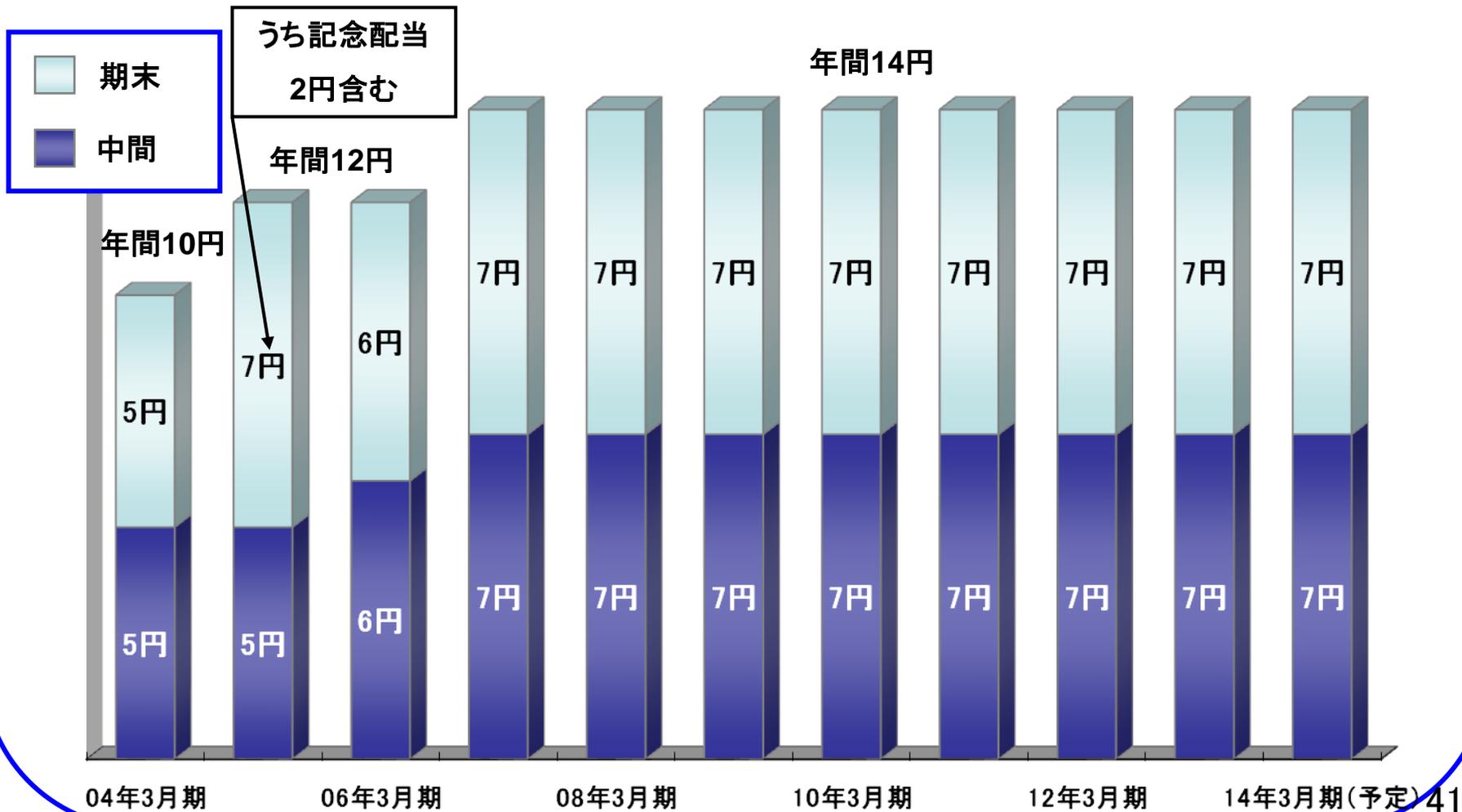


5. 株式情報

株価推移(1999年～2013年)



安定的且つ継続的な配当を目指します



同業他社との株価水準比較



社名	11/29 終値	時価総額 (百万円)	1株利益 (今期予想)	PER	配当 (今期予想)	配当利回り	1株純資産 (H25.3月末 時点)	PBR
安田倉庫	¥1,197	36,340	¥51.07	23.44	¥14	1.2%	¥1,609.57	0.74
三菱倉庫	¥1,620	284,992	¥49.07	33.01	¥12	0.7%	¥1,288.42	1.26
三井倉庫	¥499	62,083	¥40.26	12.39	¥9	1.8%	¥440.99	1.13
住友倉庫	¥594	116,386	¥36.45	16.30	¥11	1.9%	¥749.60	0.79
澁澤倉庫	¥407	30,968	¥17.10	23.80	¥7	1.7%	¥440.43	0.92

単純平均

21.79

1.5%

0.97

【ご参考】最低購入価格(11/29終値)

三菱倉庫(1単元=1,000株) ¥1,620,000

三井倉庫(1単元=1,000株) ¥499,000

住友倉庫(1単元=1,000株) ¥594,000

澁澤倉庫(1単元=1,000株) ¥407,000

【ご参考】最低購入価格(11/29終値)

安田倉庫(1単元=100株) ¥119,700



基準日	年1回(3月31日)	
優待品	お米券	
保有株式数に応じた 優待内容	100株以上、1,000株未満	2kg
	1,000株以上、5,000株未満	5kg
	5,000株以上	10kg

なお、(株)共立メンテナンス様のご協力により単元株以上を保有されている株主の皆さまに「ラビスタ函館ベイご宿泊優待券」をお届けしております。

アドレス : <http://www.yasuda-soko.co.jp>

▼TOPページ

▼個人投資家の皆さまへ

倉庫・トランクルーム・配送・国際輸送の物流事業と不動産事業
YASUDA 安田倉庫株式会社

ENGLISH

We have ideas!

わたしたちには、確かなソリューションに変えられた経験があります。

事業案内 Services & Solutions | 会社情報 Company Profile | IR情報 Investor Relations | 採用情報 Recruit | お問い合わせ Inquiry

このたびの東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

物流事業
 ・国内物流
 ・海外・国際物流
 ・サブライチエーション・ソリューション
 ・文書・情報管理

不動産事業
 ・不動産

事例

YASUDAソリューションズ

安田倉庫グループが、総力をあげて問題解決にあたったさまざまな事例をご紹介します

情報システムのご紹介

信頼と実績のあるWMS・YOUSRS IIを中心にお客様の物流をトータルにサポートいたします

・情報セキュリティへの取り組みについて
 ・環境への取り組みについて
 ・電子公告

トピックス [一覧はこちら](#)

- 2011.09.01 安田倉庫国際貨物追跡システムのサービスを開始しました
- 2011.07.01 第143回定時株主総会臨時報告書を掲載しました
- 2011.06.24 第143回定時株主総会決議ご通知を掲載しました
- 2011.06.09 認定通関業者制度の認定取得のお知らせ【PDF・73KB】
- 2011.06.03 第143回定時株主総会のお知らせ
- 2011.05.11 当社株式の大量買付行為に関する対応策（買収防衛策）の継続について【PDF・255KB】
- 2011.04.22 中国における新倉庫開設に関するお知らせ【PDF・149KB】
- 2011.03.28 大阪府茨木市の倉庫用地の取得に関するお知らせ【PDF・59KB】
- 2011.03.16 「東北地方太平洋沖地震」の影響に関するお知らせ【PDF・60KB】
- 2010.06.25 第142回定時株主総会決議ご通知を掲載しました
- 2010.06.04 第142回定時株主総会のお知らせ
- 2010.05.11 代表取締役の異動に関するお知らせ【PDF・80KB】
- 2010.02.05 中期経営計画「BIG Cs 2012」策定について
- 2009.08.12 ベトナム現地法人の設立に関するお知らせ【PDF・70KB】
- 2009.06.26 第141回定時株主総会決議ご通知を掲載しました
- 2009.06.05 第141回定時株主総会のお知らせ
- 2009.05.12 代表取締役の異動に関するお知らせ【PDF・24KB】
- 2009.03.27 代表取締役の異動に関するお知らせ【PDF・27KB】
- 2008.11.28 新山下営業所（神奈川県）の開設のお知らせ【PDF・15KB】

倉庫・トランクルーム・配送・国際輸送の物流事業と不動産事業
YASUDA 安田倉庫株式会社

トップへ戻る ENGLISH

事業案内 Services & Solutions | 会社情報 Company Profile | IR情報 Investor Relations | 採用情報 Recruit | お問い合わせ Inquiry

個人投資家の皆様へ For Individual Investors

安田倉庫についてより深くご理解いただくために、個人投資家の皆様をはじめ当社IR情報ページにお越しいただいた皆様に向けた情報を掲載しています。

安田倉庫とは

安田倉庫株式会社は、1919(大正8)年の創立以来、首都圏・関西圏の好立地倉庫拠点を基盤とする総合物流サービスを展開しています。また、東京・横浜地区での不動産事業も手掛けており、収益の柱となっています。近年は、中国・ベトナムなど東アジア地域に係わる事業展開を強化するとともに、従来の倉庫・物流サービスの枠にとどまらない多彩なサービスメニューをお客様のニーズに合わせて提供しています。

物流事業

好立地の物流センター群を基盤にロジスティクスを一括してご提供しています。
 物流事業についてはこちら

不動産事業

企画開発からビル管理まで事業を展開し、時代のニーズに応える快適空間をご提供しています。
 不動産事業についてはこちら

YASUDAレビュー

安田倉庫のトップ

社長の宮本 憲史より皆さまへのご挨拶です
[詳しくはこちら](#)

安田倉庫の業績について

業績の推移、売上構成、業績予想などのご案内です
[詳しくはこちら](#)

配当情報

当社株式の配当情報、配当状況を掲載しています
[詳しくはこちら](#)

安田倉庫の歩み

1919年から続く、安田倉庫のこれまでの歩みをご紹介します
[詳しくはこちら](#)

安田倉庫の将来について

当社グループ中期経営計画「BIG Cs 2012」の概要についてお知らせします
[詳しくはこちら](#)

株主優待制度

100株以上保有の株主の皆様にお米券を贈呈いたします
[詳しくはこちら](#)

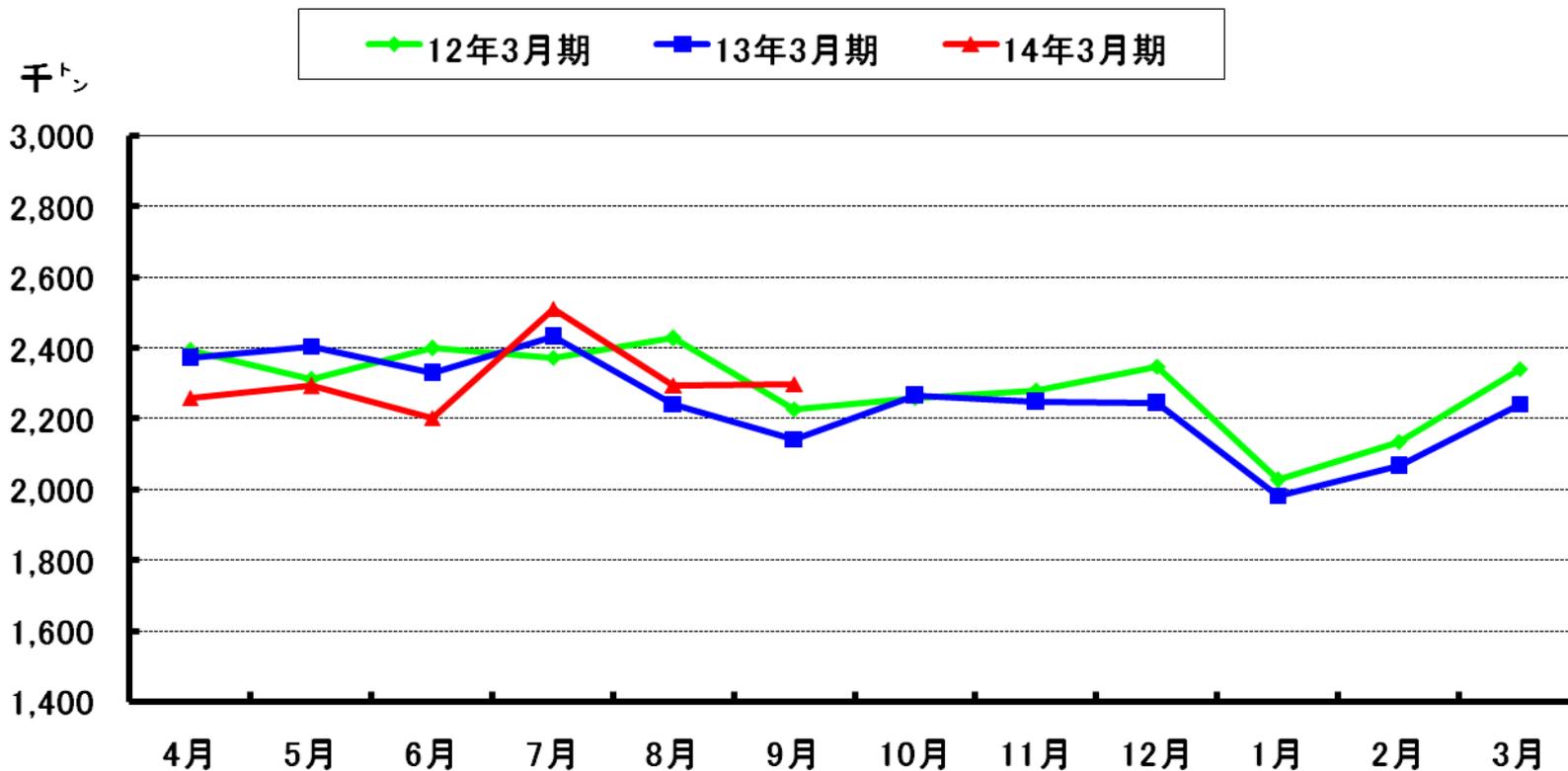
個人投資家の皆様へ
 集約データ
 IRカレンダー
 IRニュース
 財務ハイライト
 IRライブラリー
 中期経営計画
 コーポレート・ガバナンス
 株式の概要
 株主総会情報
 配当情報
 株主優待制度
 電子公告
 免責事項
 特約情報

ページの先頭に戻る

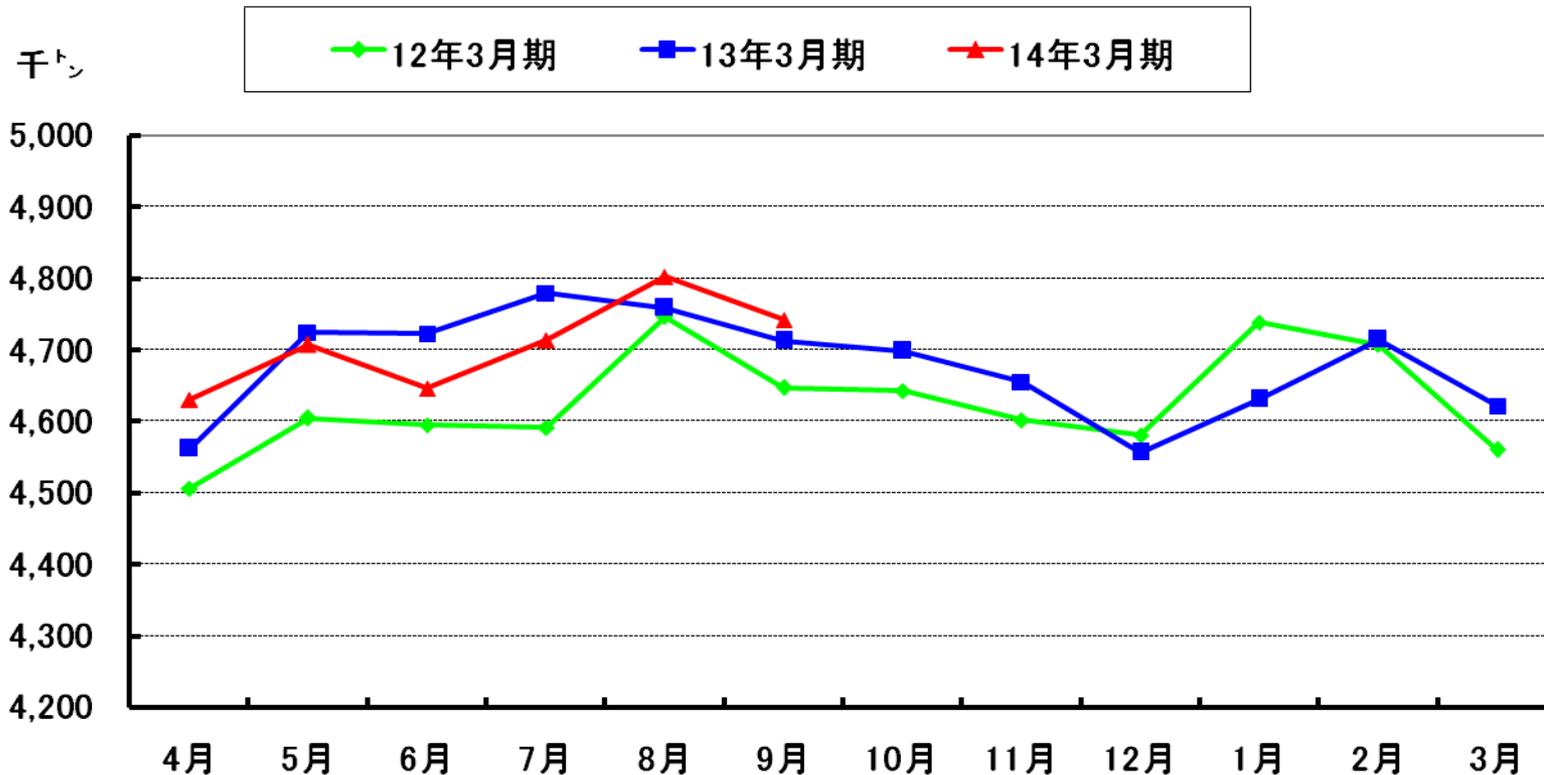
サイトポリシー | プライバシーポリシー | サイトマップ

6. 参考資料(物流・不動産の市場環境)

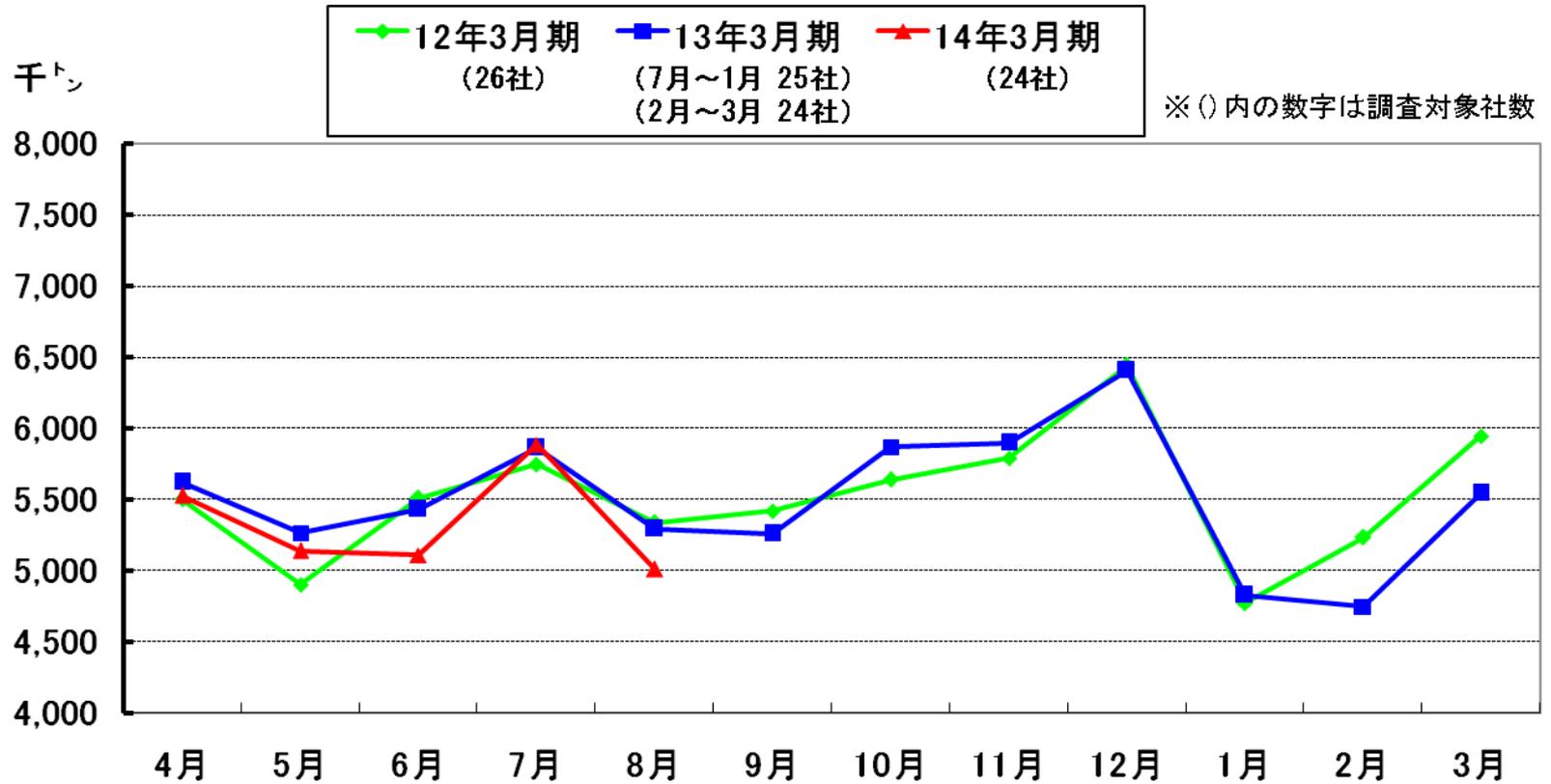
普通倉庫21社統計 入庫高

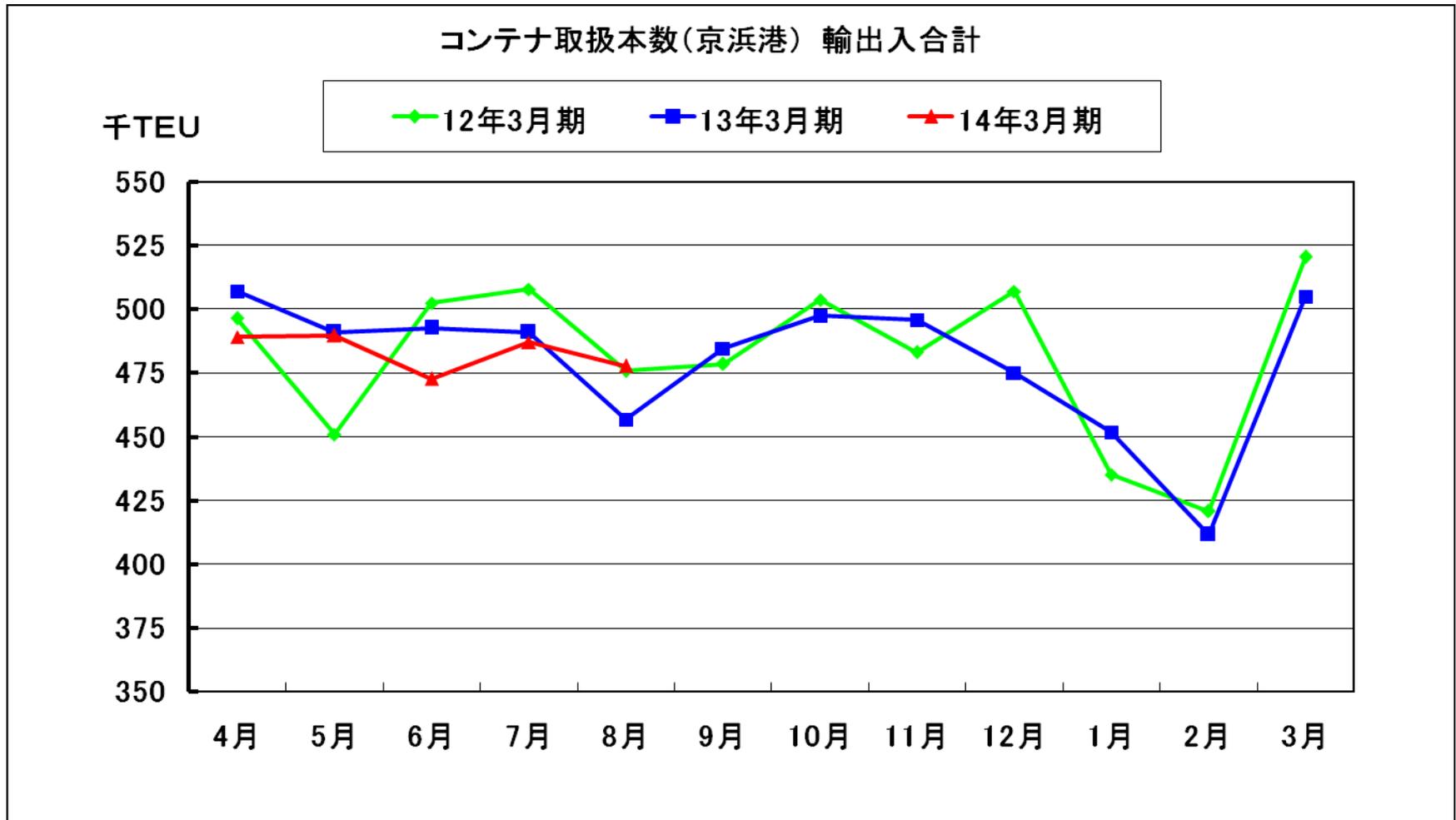


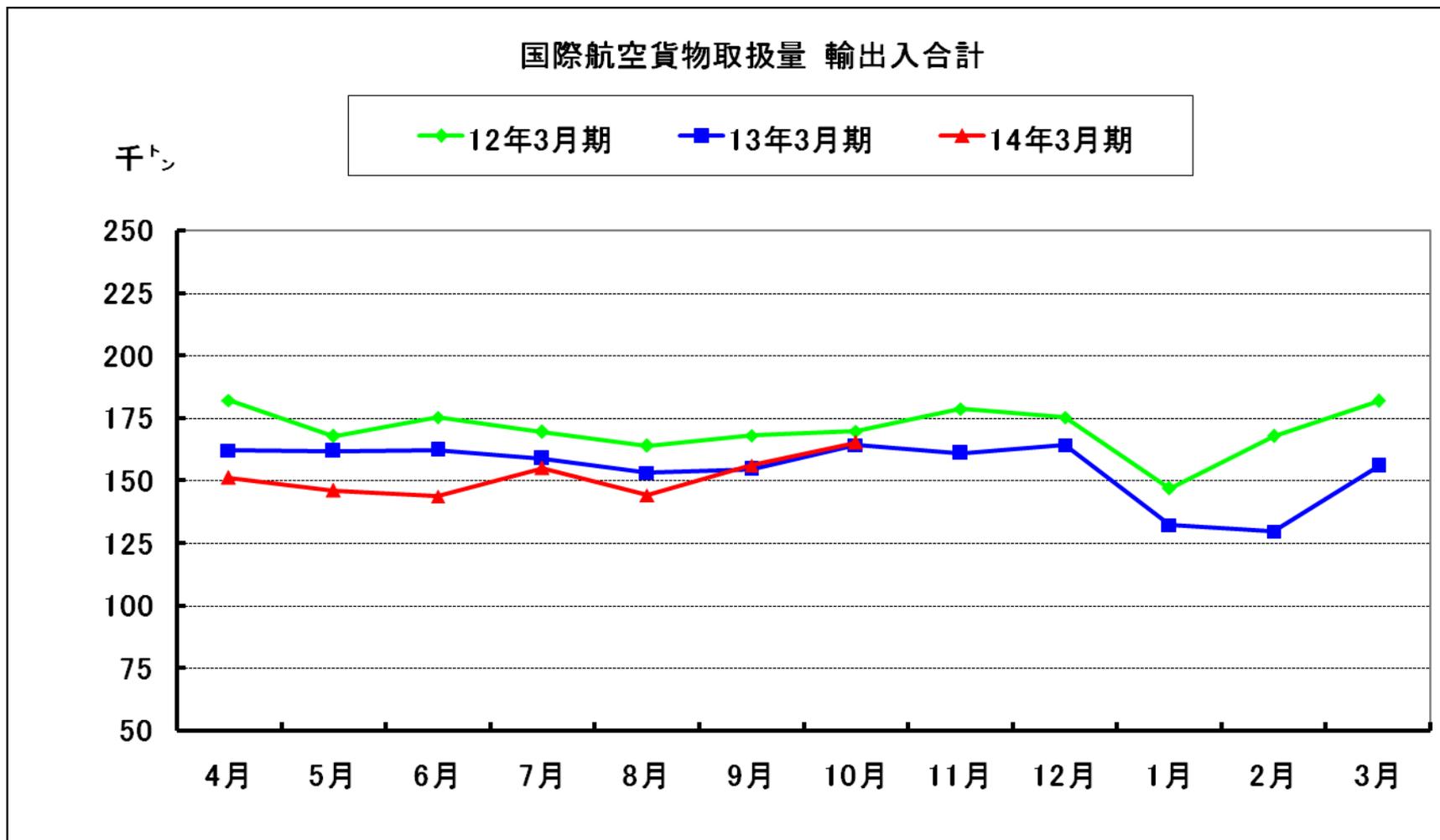
普通倉庫21社統計 保管残高



特積貨物輸送トン数

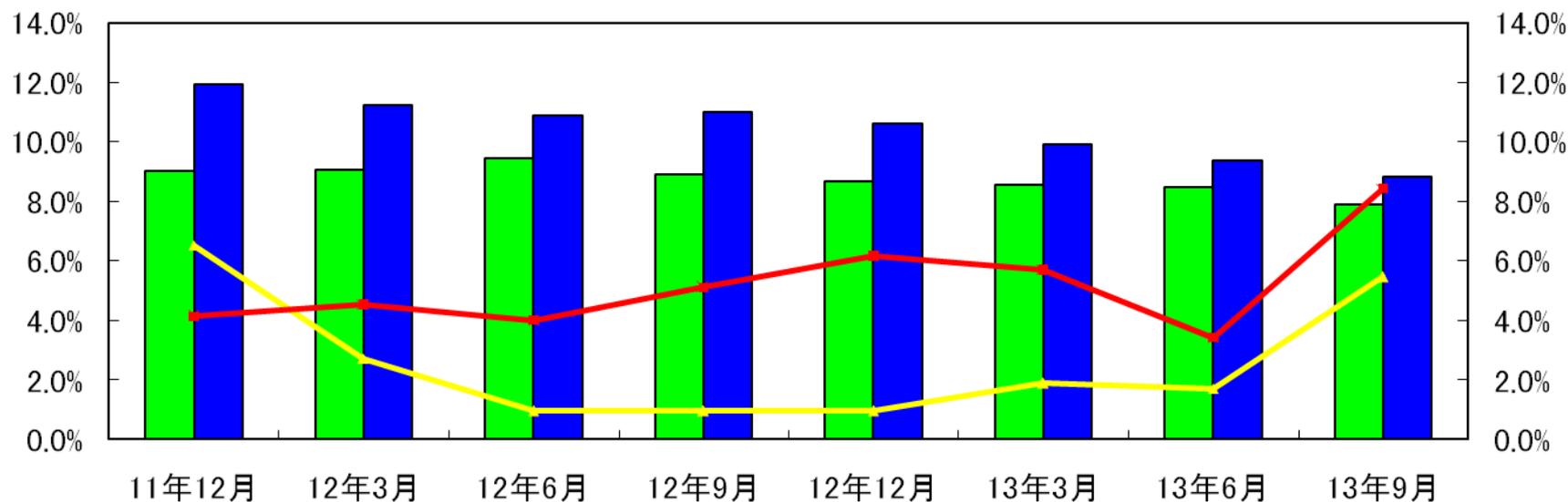






当社不動産事業およびオフィス市況の空室率

■ 東京ビジネス地区
 ■ 横浜ビジネス地区
 — 当社東京地区
 — 当社横浜地区



YASUDA



本資料ならびにIR関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

安田倉庫株式会社 業務部

TEL:03-3452-7316 FAX:03-3453-9786

MAIL:webmaster@yasuda-soko.co.jp

ホームページ:<http://www.yasuda-soko.co.jp>

当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。